

平成28年度  
日本医師会女性医師支援センター事業  
九州ブロック会議 取組み報告

沖縄県医師会女性医師部会 副部会長  
沖縄赤十字病院消化器内科 部長  
外間 雪野



# 長崎県 あじさいプロジェクト

- 長崎大学が平成24年度に、長崎県の委託を受けてメディカル・ワークライフバランスセンター (mWLB)を設置
- 現在、長崎県内で勤務する医師と長崎大学病院の全医療職員のワークライフバランス実現のために活動

## キャリアサポート

自分らしく、キャリアを継続するために



- ➔ コンサルティング
- ➔ 復職&リフレッシュトレーニング
- ➔ 講演会やセミナーなどの開催報告
- ➔ 女性医師ネットワークづくり
- ➔ 輝く卒業生インタビュー

## 両立サポート

育児、介護…ライフイベントを迎えても、安心して働くために



- ➔ 長崎県医師会保育サポートシステム
- ➔ イブニングシッターサービス
- ➔ マタニティ白衣貸出
- ➔ 両立ガイドブック
- ➔ 子育て家庭に役立つ情報 / 国の支援制度
- ➔ 長崎県の病児保育・病後児保育施設

## 長崎県内病院の取り組み

ワークライフバランス実現を目指しています！



- ➔ 長崎大学病院の取り組み
- ➔ 長崎大学病院各診療科メッセージ
- ➔ 病院インタビュー
- ➔ 地域就労支援病院
- ➔ 私たちのワークライフバランス実践術

# 長崎県 あじさいプロジェクト

## ▶ 保育サポート事業の充実・拡大

H26年から進めてきた保育サポート

支援区域を長崎大学から長崎市域の病院・医院に拡大  
県内への拡大を目指して広域のサポーターの募集

長崎市以外でのサポーター講習会の開催(予定)

➡ 男性医師の利用有り

男女とも仕事と育児の両立支援

## ▶ 医学生への教育への関与 WLBについての

「医と社会」の講座に参加しPR活動

長崎県医師会として講義への参加、医師会弁当の配布  
医療人となることの意味とプロの自覚の促し

# 熊本県 クローバーの会

熊本県女性医師キャリア支援センター

熊本大学医学部附属病院  
(熊本県地域医療支援機構)

- 勤務環境に関する調査
- 未就業女性医師の調査・分析
- 女性医師対象の研修会等の開催
- キャリア支援のための情報発信
- 医療機関への調査・支援
- キャリア支援に関する相談対応

委託

熊本県

委託

熊本市医師会

- 医師会内保育所「メディッコクラブ」
- 講演会参加時の無料一時保育

連携

地域 (aree) を愛 (love) で満たして個々のキャリア (career) を

連携

連携



H26年から

クローバーの会(熊本県医療人キャリアサポート)

連携

熊本大学医学部附属病院  
男女共同参画推進委員会

- 各医局との連携など

連携

熊本県医師会  
男女共同参画委員会

- 各種セミナーなど

# 熊本県 メディッコクラブ

熊本市医師会  
H24年から



メディッコクラブ（熊本市医師会保育所）利用状況

	4/21 (木)	4/22 (金)	4/23 (土)	4/25 (月)	4/26 (火)	4/27 (水)	4/28 (木)	4/30 (土)	5/2 (月)	5/6 (金)	5/7 (土)	5/9 (月)	合計
中学生	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	4
小学生	5	5	1	7	8	7	8	2	7	8	4	9	71
未就学	5	8	2	8	10	9	5	2	4	5	5	1	64
1歳未満	0	2	1	2	2	3	2	1	2	1	0	0	16
合計	10	15	4	18	21	20	16	5	13	14	9	10	155
スタッフ	4	5	5	7	7	7	6	3	5	4	2	3	58

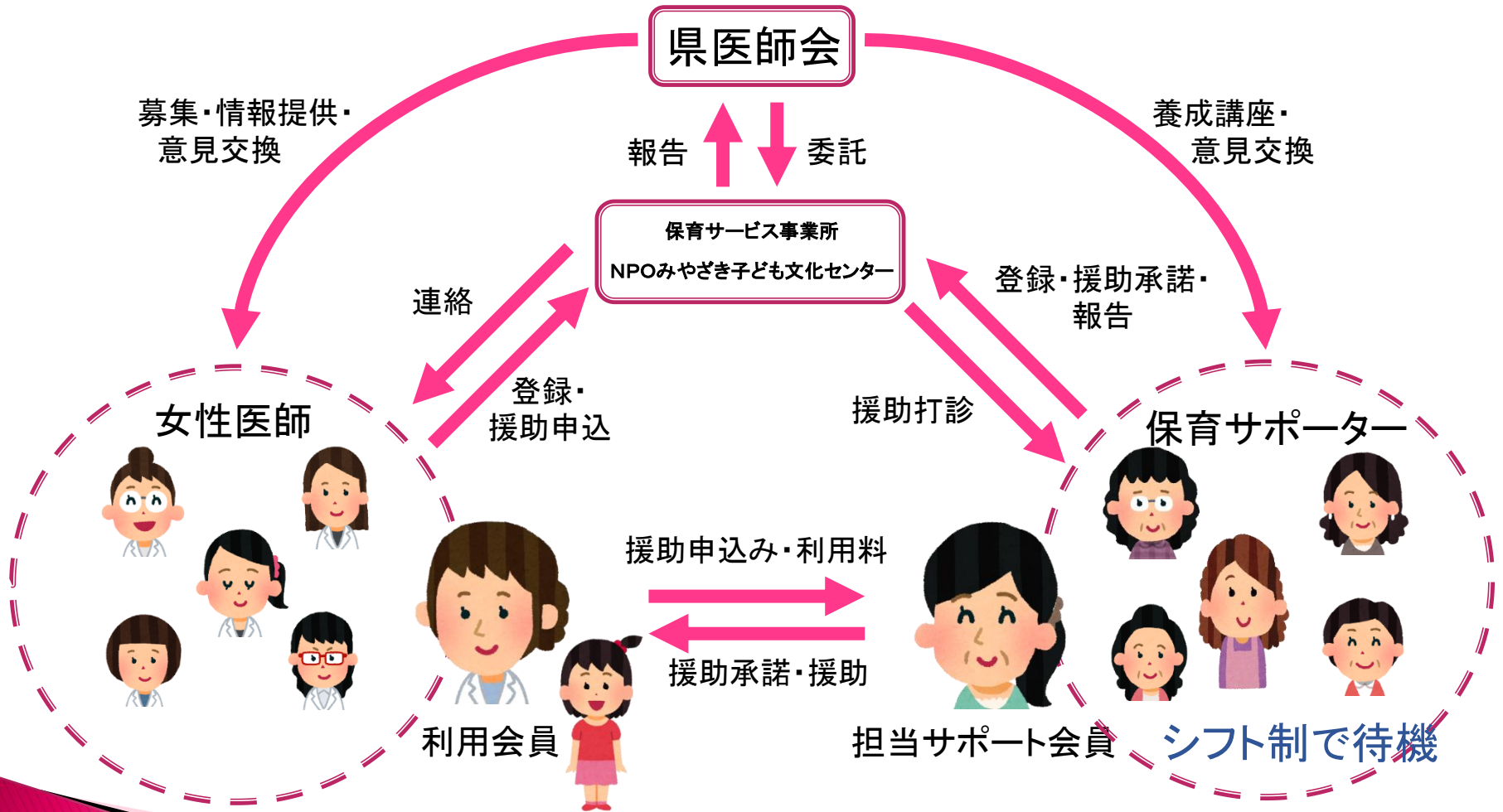
熊本大学医学部附属病院 臨時学童保育利用状況

	4/27 (水)	4/28 (木)	5/2 (月)	5/6 (金)	合計
小中学生	31	59	49	47	166

※学生ボランティア延べ90名、保育士2名、事務部の協力により、申込みのあった学童全員を受付けて延べ166名を預かることができた。

# 宮崎県 女性医師保育支援サービスモデル

基本的なしくみ



# 宮崎県 女性医師保育支援サービスモデル

## ■ 利用料金 (女性医師からサポート会員へ)

● 通常のお預かり		1時間あたり	● 宿泊のお預かり	1泊
月～金	7時～19時	600円	17時～翌朝 8時	10,000円
土・日・祝日	7時～19時	700円	● 病後児のお預かり	1時間あたり
早朝	6時～7時	800円	月～金 8時～19時	650円
夜間	19時～23時	800円	土 8時～正午	750円

## ■ 事業費

平成27年度: 70万円(宮崎県医師会 1/2 宮崎県 1/2)  
平成28年度: 150万円(宮崎県医師会 1/2 宮崎県 1/2)

- 利用手引きの作成
- サポート会員養成講座開催
- 顔合わせ会開催
- 会員登録手続き・紹介等事務経費
- サポート会員へのシフト待機料
- サポート会員へのインフルエンザ予防接種補助 等



# 宮崎県 女性医師保育支援サービスモデル

## ■ 登録者数

	H27	H28	合計
女性医師利用会員	18名	12名	30名
サポート会員	13名	7名	20名

## ■ 活動実績 (H28.1.18~H28.10.31)

預かりの区分		活動サポーター	
通常のお預かり	105件	担当者	103件
病後児のお預かり	3件	シフト待機者	5件
宿泊のお預かり	0件		
合計	108件		

## ■ 活動内容 (H28.1.18~H28.10.31)

- 保育園・幼稚園の迎え
- 学童保育の迎え
- 保育園・学校のお休み時のお預かり
- 保護者の研修会等参加時のお預かり
- 保護者の外出時のお預かり
- 病後児のお預かり

## ■ 女性医師の声

### ➢ 利用経験ありの方

- とても良くしていただいている、不満などはありません。こちらの都合や子供の不機嫌でご迷惑をおかけすることのほうが心配です。とても助かっています。
- 利用しやすい料金で毎回安心してお願いしています。子供たちも週に1回お会いできるのを楽しみにしています。レポートもいつも丁寧に書いて下さり感謝しています。
- 保育園のお迎えをお願いしました。料金はとても安いと感じています。
- メインのサポーターの都合がつかない時も別のサポーターを迅速に紹介していただけるので、助かっています。

### ➢ 利用経験なしの方

- 休みをもらえたため。
- 今のところ、親のサポートもあり、使わずに済んでいます。
- 運良く通っている保育園の病後児に預けることが出来ているため。
- 今のところ、不測の事態になる前に対策できているので。
- 利用していませんが、二重三重の safety net があることが安心材料になっています。ありがとうございます。

# 沖縄県 女性医師部会の活動

- 沖縄県女性医師フォーラム(9/23) 9年連続
  - ✓ 「どうなる新専門医制度 ～指導医、研修医が知っておくべきこと～」
- 琉球大学医学部附属病院・沖縄県医師会女性医師部会との合同企画  
「琉球大学医学部3年生向けキャリアアッププラン講義(6/23)」 4年連続
  - ✓ 琉球大学医学部附属病院に勤務する子育て中の医師のキャリアプランの経験、プランの実行における準備の大切さ等を発表いただいた。グループセッションでは、「キャリアプランを立ててみよう」をテーマに男女混合でグループセッションを行った。
- 出張事業(プチフォーラム)(12/18) 11回目
  - ✓ 女性医師のキャリアアップやキャリアパス形成、勤務環境の現状や今後必要となる対策等の説明を、本部会役員が行い、その後、職員と意見交換を行った。
- 女性医師の勤務環境整備に関する病院長等との懇談会(10/20) 9年連続
  - ✓ 公的・民間病院を含めた施設の代表者や事務長等が参加し、琉球大学医学部附属病院に勤務する子育て中の医師のキャリアプランの経験並びに、育児休暇を取得した男性医師の事例報告が行われ、その後、意見交換を行った。

# 沖縄県 女性医師部会の活動

沖縄県女性医師フォーラム：「どうなる新専門医制度～指導医、研修医が知っておくべきこと～」

県内3臨床研修群（県立病院群、RyuMIC群、群星沖縄群）の立場から新専門医制度について講演後、参加者を交え全体で討論を行った。

この時点では、整備基準で病休・産休について明示されるも各科で方針がバラバラであった。

■ 内科	■ 小児科
<ul style="list-style-type: none"><li>● 修了基準を満たしていれば3年間で4ヵ月まで休める</li><li>● 1日8時間、週5日は研修実績として認める</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出産育児：3年間で6ヶ月まで、病休：3ヶ月まで</li><li>● 勤務形態は問わないが、プログラム責任者が研修と認めること</li></ul>
■ 外科	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 3年間で最長120日休止可能</li></ul>	



専門医制度新整備指針 2016年12月 一般社団法人 日本専門医機構

Ⅲ-2-④ 特定の理由のある場合の措置：特定の理由（海外への留学や勤務、妊娠・出産・育児、病気療養、介護、管理職、災害被災など）のために専門研修が困難な場合は、申請により、専門研修を中断することができる。6ヵ月までの中断であれば、残りの期間に必要な症例等を埋め合わせることで、研修期間の延長を要しない。また、6ヵ月以上の中断の後研修に復帰した場合でも、中断前の研修実績は、引き続き有効とされる。

# ディスカッション・情報交換会

- ▶ 鹿児島県：若い先生方をどう育てるかということが女性医師支援の重要なポイントである。子育てだけでなく、日本の医療がどうなっているか、医師は何をしなければならないのか、地域医療をどうするか等を男女問わず考えなければならない。鹿児島大学・鹿児島県医師会の活動の目途は、「甘えてはいけない使命がある」ということを若い先生方に理解していただくことである。
- ▶ 長崎県：大学ではすでに助教クラスの20～30%が女性になっている。女性がリーダーになれるような、マネジメントをしなければならない。産休・育休で中断しても40代50代で部長や要職に就くような働きかけを検討したい。
- ▶ 沖縄県：現在、琉球大学の産婦人科は25名中16名が女性医師である。私が辞めずに働き続けることが彼女たちのモデルとなり得るだろうと考え、現在講師として働かせていただいている。大学にいる女性医師は、大学院生と助教まではやるが、それ以降はなる方がほとんどいない。家庭をもちながらどこまで責任がもてるのか、本人も、上司も女性医師をそのような立場にすることをためらうという側面があるかもしれない。これからの女性医師は、要職について後輩の道を作るのだという決断を求められている。